

主 催：東京学芸大学国際教育センター

## 第10回 国際教育センターフォーラム

# 「海外・帰国子女の多様化と教育の課題」

日 時：2017年3月4日（土）（13時～17時）

会 場：東京学芸大学 南講義棟（S棟）S303教室

今、海外子女、帰国子女の多様化が進んでいます。在外教育施設では、補習授業校やアジア圏の日本人学校を中心に、必ずしも日本への帰国を前提としない、国際結婚家庭の子どもや永住者の子ども等が増えています。また、海外における就学状況のデータからは、日本人学校や補習授業校に通わない子どもや、就学前の低年齢の子どもが増加する傾向にあります。それに伴って、近年の帰国子女の状況にも変化が生じているといわれています。今回のフォーラムでは、子どもの多様化が進むヨーロッパ地域の補習校の事例と、長年帰国子女を受け入れてきた、国内の2つの学校の事例をもとに、海外・帰国子女の新たな状況と教育の課題についてご報告いただきます。それをもとに、海外・帰国子女教育を捉えなおし、今後の支援のあり方について、ご来場の皆さまとともに探っていきたいと考えています。

### 【参加申し込み方法】

申し込みは、氏名、ご所属、返信用のメールアドレス、もしくはFAX番号を明記の上、下記宛にメールかFAXにてお申し込みください。

件名「国際教育センターフォーラム申し込み」とし、本文に氏名・所属をご記入ください。

- \* 申し込み締め切り：3月2日（木）
- \* ご質問、ご不明な点につきましても、下記までお問い合わせください。
- \* 詳細は、随時ホームページに掲載します。

### 【お問い合わせ先】

東京学芸大学国際教育センター 教務室、または事務室

TEL. 042-329-7717, 7727 FAX. 042-329-7722

メール c-event (@) u-gakugei. ac. jp ※(@)を@に置き換えてください。

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1

## ■■■プログラム■■■

総合司会：菅原 雅枝（東京学芸大学国際教育センター准教授）

12：30～ 会場、受付開始

13：00～13：10 開会の辞

馬場 哲生（東京学芸大学国際教育センター長）

長谷川 正（東京学芸大学理事・副学長）

13：10～13：30 趣旨説明

見世千賀子（東京学芸大学国際教育センター准教授）

13：30～16：10 報告1～4、指定討論

「補習授業校の子どもたちへの確かな学びの支援を」（仮）

江口 俊昭（ロンドン補習授業校・ダブリン補習授業校 元校長）

「補習校と子どもたちをとりまくドイツの今ー多様化する『わが家の言語政策』」（仮）

奥村三菜子（ケルン日本語補習授業校・ボン日本語補習授業校 元講師）

「近年の帰国児童生徒と教育の課題」

山下 一枝（啓明学園中学校高等学校 教諭）

島田かおる（啓明学園初等学校 講師）

佐々 信行（海外子女教育振興財団教育相談員、啓明学園 元校長）

「中野区立第三中学校における帰国生徒への取り組み」

齊藤 久（中野区立第三中学校 校長）

指定討論 松井 智子（東京学芸大学国際教育センター教授）

16：10～16：50 パネルディスカッション

「多様化する海外・帰国子女への教育支援策をめぐって」

コーディネーター：見世千賀子

パネリスト：報告者全員、指定討論者

16：50～17：00 まとめと閉会